

美術科 授業デザイン

日	時：平成 26 年 10 月 24 日（金）第 2 校時（9 時 40 分～10 時 30 分）
学	年： 中学部 1 年
授	業 場 所： 技美室

1. 単元（題材）名

てん刻～自分だけの印を作ろう～

2. 単元（題材）の目標

○主体的に取り組み，自分を見つめ，自分を表す印の制作をすることができる。

○豊かに発想し，構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し，創造的に表現することができる。

3. 単元（題材）の指導計画

指導計画（全 9 時間）

時	主な学習活動・内容	主な使用機器
第 1 時	○てん刻について学ぶ ・てん書体の練習	プロジェクター P C
第 2 時	○制作(印面)	プロジェクター
第 3 時	・下絵作り	P C
第 4 時	・制作	
第 5 時		
第 6 時	○制作(持ち手) 本時(第 6 時)	プロジェクター
第 7 時	・形のとらえ方	P C
第 8 時	・下絵作り	
第 9 時	・制作	

4. 本時の目標

(1) 試行錯誤しながら，制作を楽しむことができる。

(2) 発砲スチレンの素材と形の特徴を考え，表現したい形へとイメージすることができる。

5. 本時の情報通信技術（ICT）活用

活用する場面	・導入 ・展開
活用する者〔目的〕	・児童・生徒〔 ・一斉学習 〕 ・指導者〔 ・資料提示 〕
活用するコンテンツ	・自作コンテンツ
活用する機器	・プロジェクター

6. 本時の展開

	学 習 活 動	活用機器 (活用者)	指導上の留意点・支援内容 【ICTによる支援】
導 入	一斉学習 ①持ち手の制作についての説明を聞く。 ②本時の学習内容をつかむ。 ③用具を配布し、使用上の注意について説明する。	プロジェクター (指導者)	今後の見通しを立てながら、課題の説明をする。 ←今回の課題は練習として行うものなので、失敗しても良いということを理解させる。
展 開	個別学習 ④発砲スチレンに卵の形を下描きする。 ⑤発砲スチレンを卵の形に切る。 協働学習 ⑥制作を一時中断し、友だちの作品を鑑賞し、互いにアドバイスをし合う。 個別学習 ⑦アドバイスを参考に制作を進める。	プロジェクター (指導者)	←用具の使い方を説明しながら、使い方・切り方のポイントや注意を伝える。 ←卵を用意し、触って形を確認できるようにする
ま と め	一斉学習 ⑧完成作品を見ながら本時のまとめをする。 ⑨自己評価カードを記入する。 ⑩次時の予告を聞く。		学び合い、教え合いの場面を設定し、互いの作品を鑑賞しながら生徒同士の交流を図る。 この段階で作品ができてしまった生徒には、卵から発展した形を提案する。 制作が進まない生徒には、完成した生徒が先生となって協力する。 授業の振り返りをするこ とで、学んだことを自分なりに整理する。

7. 本時の評価（評価の観点・観点別の評価を含む）

【美術への関心・意欲・態度】

- ・てん刻を制作することへの関心を持ち，楽しく彫刻活動に取り組み，自分らしくよりよい表現を目指し，試行錯誤をしつつ創意工夫しようとする。

【発想や構想の能力】

- ・卵の美しい形を発想でき，材料の効果的な生かし方，使う楽しさなどを工夫して構想を練る。

【創造的な技能】

- ・感性，造形感覚や美的感覚などをはたらかせ，カッターや印刀，やすりなどを効果的に生かして美しく創造的に表現する。

【鑑賞の能力】

- ・自他の作品から発想豊かで，ウレタンの材料を生かした表現を見出し，よさや美しさなどを感じ取り，味わったり肯定的に批評し合う。

8. 準備物

- ・プロジェクター ・カッターナイフ ・カッター板 ・発砲スチレン ・茹で卵